

# 自由気球の飛行通報書

ノータムNo. RJTD 1647/22

東京空港事務所長 様

令和5年7月10日

氏名又は名称及び住所並び 法人の場合は代表者氏名	〒080-1492 北海道河東郡上士幌町5区 上士幌町役場内 北海道バルーンフェスティバル組織委員会 組織委員長 竹中 貢
緊急に連絡を要する場合の 連絡先及び電話番号	●北海道バルーンフェスティバル事務局 電話01564-2-4291

自由気球の飛行を行いたいので、航空法第134条3第2項の規定に基づき、下記の通り通報します。  
記

飛行の目的（許可申請の場合に限る）		気球の低高度自由飛行	
気球の概要	気球の名称（又は計画コード名）	熱気球（日本気球連盟登録気球 JA-A 0100～2500）	
	飛行予定日時（複数飛行の場合の飛行開始及び終了予定日時を含む）及び飛行条件	令和5年8月1日～8月31日 日の出～日没 有視界飛行条件（VMC）	
	飛行場所（又は基地）	北海道河東郡上士幌町を中心に十勝地方	
	気球の区分	重気球 その他の気球	
	気球の概要	総重量	300～500キログラム
		形状	ティアドロップ（涙滴）型
		直径	15～30メートル
		彩色	1～12色（白黄赤青緑紫黒他）
	打火、標識等、レーダー、反射装置、ATCトランスポンダー、NDBを装備している場合の適用可能なSSRコード又はNDB周波数	無し	
	その他危険防止装置	高度計、昇降計、温度計、無線機	
	複数の気球を飛行させる場合の気球数量及び計画している飛行間隔	最大70機・最小1機	
	気球の上昇予想方向	0～360。	
	気球の予想巡航高度	6000フィート以下	
	気球が18000mを通過する場合の当該通過予想時刻	無し（到達不可）	
気球の巡航高度18000m以下の場合の巡航高度に到達する予想時刻	離陸後15分		
当該行為の終了予想日時及び着地回収場所の予想区域	令和5年8月31日日没 河東郡上士幌町周辺		
その他の参考となる事項	受理番号：東事運第1533号 令和5年6月28日付 ノータム番号：RJTD 1324/23 の更新		

（注）その他参考となる事項の欄には、関係管制機関の長と気球の飛行に関して調整を行った場合の調整結果（必要に応じ、確認書を添付すること）等を記載すること。

## 使用熱気球概要

項目	内容
容積	1500～6000立方m
サイズ	最大直径15～30m、高さ20～35m
重量	約300～500kg
色彩	1～12色（白、黄、赤、青、緑、紫、黒他）
搭乗員	2～10名（操縦者を含む）
装備品	高度計、昇降計、温度計、コンパス、航空地図、無線機（CB）その他
その他	賠償保険、航空地図、耐空証明書、その他

## 離陸予定地(候補地)

第一候補	名称：上士幌町字上士幌基線41号 上士幌町航空公園 N431452 E1431652
第二候補	名称：上士幌高校グラウンド N431334 E1431644
第三候補	名称：士幌町総合グラウンド N431055 E1431442

## 熱気球飛行条件

1. 飛行に際しては、日本気球連盟の熱気球自由飛行安全規定を守り実施します。
2. 飛行通報書にのっとり、飛行高度、日時、エリアを守り実施します。
3. 当日の天気により、万一飛行エリア外に出る可能性のある場合は、直ちに低高度にて着陸体勢をとり、地上障害物のないところに着陸します。
4. 着陸は地上障害物（電線、人家、建築物、鉄道、耕作地等）を避けて行います。
5. 実施に際し、地元役場、警察、消防署等関係機関に対して、必要に応じ事前に通報して行います。

## 通 報 書 添 付 資 料

航空法第134条3第2項の規定に基づき、以下の通り熱気球による自由飛行を行いますので、関係資料を添付のうえ、お知らせします。

また、必要の際には、関係する航空運行関係機関への通報をお願い致します。

記

飛 行 場 所	北海道河東郡上士幌町周辺（帯広北部平野部）地図参照
飛 行 日 時	令和5年8月1日～8月31日の間
飛 行 内 容	熱気球による低高度飛行、飛行高度海拔6000フィート以下 （一部3500フィート以下、一部2500フィート以下）
飛 行 条 件	有視界飛行(VFR ONLY) 日本気球連盟熱気球飛行安全規定
使 用 熱 気 球	日本気球連盟登録熱気球 JA-A 0100～2500 最大70機、最少1機
飛 行 責 任 者	日本気球連盟登録熱気球パイロット
飛 行 実 施 団 体	日本気球連盟所属 熱気球飛行団体 （代表連絡先：日本気球連盟事務局 TEL 075-841-1787）
飛 行 場 所 連 絡 先	北海道河東郡上士幌町役場商工観光課 TEL01564-2-4291
飛 行 空 域	次の12地点で囲まれた空域 N433008 E1424945 A N431008 E1424946 B N431008 E1425445 C N430516 E1430442 D N425159 E1433151 E N425009 E1433545 F N425009 E1434445 G N425506 E1434445 H N433008 E1434445 I N433008 E1434345 J N430754 E1432537 K N430451 E1431346 L N430432 E1432037 M （Mから半径5NMで、ポイントがL～Kまでの弧）
飛 行 高 度	海拔6000フィート以下厳守(AMSL)～ABCDJKLで囲まれた空域。 海拔3500フィート以下厳守～DEHIJKLで囲まれた空域。 海拔2500フィート以下厳守～EFGHで囲まれた空域。
補 足 飛 行 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただし、帯広空港方面に飛行する際、空港進入航空路V4に於ては海拔高度3500フィート以下にし、速やかに着陸体制にする。</li> <li>VFR条件を守り、必要に応じ関係機関へ連絡を行う。</li> <li>飛行高度、空域、日時を守り、通報書内容に変更などのある場合は、飛行前に貴空港への連絡を行う。</li> <li>座 標～N431438 E1430300  N431338 E1430615  N431108 E1430700  N431205 E1430145</li> </ul> <p>については自衛隊然別演習場につき飛行禁止区域とします。</p>

通報書連絡先 北海道パルーンフェスティバル組織委員会  
組織委員長 竹 中 貢

通報書提出日 令和5年7月10日

以 上